

事務事業名		美術博物館教育普及事業		会計	一般会計	実施区分			
H28担当課等名		美術博物館		事業種別	政策	開始	1	終了	
H28担当課等名		H28係等名 学芸係		H27係等名		学芸係			
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり					
		施策	29	ふるさと意識の醸成					
目的	対象(誰・何を)	1 飯田下伊那広域圏の地域住民(一般市民、高校生、小中学生)					対象指標	指標名及び単位	27年度数値
	意図(どうい状態にするか)	1 館の調査研究の成果を市民に還元し、あるいは支援して、自然・文化・芸術への関心と理解を高める						圏域住民数(人)	165162
	向上させたい上位施策の成果指標	1 飯田の自然・歴史・文化を学んでいる市民の数(延べ人数)							
目標	種別	指標名及び単位			27年度計画	27年度実績	28年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)
	成果指標	主催事業あるいは館・学芸員が関わった教育普及活動の数(回) (*プラネタリウム上映・考古博物館は除く)			350	350	350	-	
	成果指標	主催事業あるいは館・学芸員等が関わった館内外事業の参加者数(人) (*プラネタリウム上映・考古博物館は除く)			12000	12000	12000	-	
定性目標									
事業概要	<p>1 美術博物館の調査研究活動の中で蓄積された研究結果や情報、展覧会などで展示される作品や資料について、その特性や魅力を講座・講演会などで紹介する。</p> <p>2 子ども向けの講座・教室・学校訪問などを実施し、伊那谷の自然と文化への学習意欲を高める。</p> <p>3 小中高校・大学・かわらんべ・地域のまちづくり委員会・地域サークルなど諸機関・諸団体の要請に応え、授業や講演・現地案内などを行う。</p> <p>4 伊那谷の希少生物生息地・露頭・遺跡・社寺・歴史・民俗などの保存と活用に関する事業を行う。具体的には南アルプス(中央構造線エリア)ジオパークの研究と整備を地域住民と共同しながら実施する。</p>								
事業内容				名称			活動指標		
27年度事業内容	1 一般対象講座等 (1)美術講座4回(2)美博文化講座9回(3)信濃の歴史講座3回(4)古文書講座12回×2班(5)自然講座14回(自然史発表会を含む)(6)第8回びはく学芸祭1回(7)ドームイベント1回			1 講座等開催数			1 56回		
	2 子ども対象講座等 (1)第10回美博まつり18ワークショップ×2日(2)子ども科学教室4回(3)子どもお絵かき教室1回(4)子ども写真学校1回(5)星空観察教室4回(6)宇宙をのぞこう6回			2 講座等開催数			2 52回		
3 その他 美博小中高校生写真賞、小中学校連携事業(県展・郡展作品展示)、ジオパーク看板設置			3 その他			3 3件			
事業コスト		26年度決算額	27年度予算額	27年度決算額	28年度予算額	特定財源内訳、補足			
事業費計(千円)①		4,576	4,258	3,876	4,287	(そ)美術博物館講座受講者負担金 251千円 (そ)諸収入 110千円			
国庫支出金									
県支出金									
起債									
その他		2,679	361	361	2,601				
一般財源		1,897	3,897	3,515	1,686				
人件費計(千円)②		0		0					
正規職員所要時間									
臨時職員所要時間									
総事業費①+②		4,576	4,258	3,876	4,287				
事業内容・目標達成状況の振り返り	主催・館外活動ともに活発で、第10回美博まつりも2,077人の参加があり盛況であった。								
改革改善の考え方	①問題点	講座などへの参加者が高齢化し減少している。一般向けの主催講座では受講者が固定化する傾向にある。学校教育との連携の面ではまだ十分でない。広報が十分でない。							
	②改革提案	伊那民俗学研究所・伊研協との協力関係を一層強める。講座の回数などを見直し適正化を図る。HP・飯田市広報などを活用して事業の広報に力を入れる。							